

スーパーグローバル大学創成支援事業とは

スーパーグローバル大学創成支援事業とは、文部科学省が国際化を徹底して進める大学をスーパーグローバル大学（SGU）として採択し、大学改革を重点支援していくプロジェクトです。本プロジェクトは、2014年度から2023年度までの10年間実施されます。

SGUには、世界レベルの教育研究を行う大学「タイプA（トップ型）」と、日本社会のグローバル化を牽引する大学「タイプB（グローバル化牽引型）」の2種類があり、以下のとおり計37大学が選ばれています。

【タイプA 13大学】

北海道大学、東北大学、筑波大学、東京大学、東京医科歯科大学、東京工業大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、広島大学、九州大学、慶應義塾大学、早稲田大学

【タイプB 24大学】

千葉大学、東京外国語大学、東京藝術大学、長岡技術科学大学、金沢大学、豊橋技術科学大学、京都工芸繊維大学、奈良先端科学技術大学院大学、岡山大学、熊本大学、国際教養大学、会津大学、国際基督教大学、芝浦工業大学、上智大学、東洋大学、法政大学、明治大学、立教大学、創価大学、国際大学、立命館大学、関西学院大学、立命館アジア太平洋大学

(うち、奈良先端科学技術大学院大学と国際大学は、学部をもたない大学院だけの大学)

本資料の概要

本資料は、2022年12月21日に公表された独立行政法人日本学術振興会 スーパーグローバル大学創成支援プログラム委員会の会議資料「スーパーグローバル大学創成支援事業 令和4年度(2022年度)フォローアップ結果」（以下、「フォローアップ結果」）及び本学の実績値をもとに、本学が定めた目標の進捗状況をグラフで表したものです。

経年比較の対象となるのは、スーパーグローバル大学創成支援事業の実施開始の前年度（2013年度）から最新年度までです。なお、SGU採択校平均及びタイプB平均の割合は、割合を単純に足し上げ、対象となる大学数で割っています。